



キッズだより

令和7年7月 第40号
たかといちどいキッズ

♪ のりものあつまれ いろんなくるま
どんでんでこい はたらくくるま♪

子どもが大好きなこの歌は、1986年に『ひらけ！ポンキッキ』という子ども番組で放送された歌です。39年前の歌が今でも歌い継がれ、愛されているということになります。私が子どもの時も歌っていました。保育士として働き始めた時も、子どもが口ずさんでいました。そして今もキッズの子どもたちが歌っています。身近な車が出てきて繰り返し歌えることが、人気の理由の1つかなと思います。歌詞は、なかなか覚えられなくても「郵便車」「救急車」「ショベルカー」など繰り返しの部分を歌えるのが楽しいようです。今は、給食前の時間に歌うのが日課になりつつあります。子どもも歌詞を覚え、遊んでいる時や散歩中などに歌っています。救急車を見つけると「あ！きゅうきゅうしゃだ！のりものあつまれ～♪」と1人が歌い始めるとみんなで歌い大合唱になっています。0歳児の子どもも体を揺らして喜んでいます。

最近すごく気になっていることなのですが、子どもたちのYouTube（動画）の楽しみ方についてです。皆さんのご家庭では、いつ見えていますか？『子どもが集中して見てくれるから家事がはかどるわ』『静かにしていてくれて助かるわ』など大人目線ですよね。では、子どもの成長面から見ると、『視力への影響』『言葉が一方通行で会話にならない』『コミュニケーション不足』などがあります。好奇心を刺激したり学びに繋がったり子どもの育ちにとっていい面もたくさんあります。子どもにとって何が大切なのか？難しい問題ですが1度見直してみてもいいでしょうか？

短い梅雨も明け夏本番です！子どもの体は、小さく体温調整の機能も未発達です。戸外遊びも15分から20分程で体力が奪われます。室内でも熱中症になります。保育園では、水分補給や休憩時間を作り暑い夏を健康に過ごせるようにします。ご家庭でも暑いからと、冷たい物ばかりでなく、栄養のある物を食べるようにしましょう！



北坂 美知子



7月の予定



誕生会	2日（水）	避難訓練	5日（土）
個人面談	5日（土）	七夕の会	7日（月）
救急訓練	11日（金）	個人面談	12日（土）
発育測定	20日（金）		





あさひ・ひかりぐみ



園での生活リズムに慣れてきて、午睡の時間になると眠そうに目をこすったり、自分から布団に横になったりしています。優しく体に触れながら、子どもたちの好きな歌をゆっくり歌うことでぐっすりと眠れるようにしています。逆に寝る前になると眠いにもかかわらず、おしゃべりが増えテンションが上がる子どももいます。子どもの声に応えながら抱っこをしたりマッサージをしたり、ゆったりとした雰囲気を作ることで気持ち良く眠っています。これからも十分な休息がとれるよう、優しく撫でたり子守唄を歌ったりし援助していきます。

今月は、水遊びや寒天、氷遊びなど様々な感触に触れる機会を作り、一緒に楽しむことで、暑い夏を思いきり楽しめるようにしていきます。

きらきらひかる～♪



眠くなってきたね



ZZZZzz



ひかりぐみ



子どもたちは、体を動かすことが大好きです。巧技台やすべり台、一本橋などを組み合わせてコースを作ると、段差を上ったり、バランスをとって渡ったりして十分に体を動かすことを楽しんでいます。「上手に出来たね」と声をかけると、友だちと顔を合わせて喜んでいました。両足で跳ぼうとすることも増えたので、コースにトランポリンを増やしてみると得意気にジャンプし嬉しそうにしています。また、音楽をかけ誘いかけると、みんな元気いっぱい走っています。これからも様々な巧技台を組み合わせ、ジャンプ、またぐ、のぼるなどの動きを取り入れていきます。

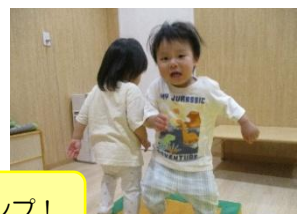
今月は、子どもの傍について手洗いの仕方を伝えたり、手を添え一緒に洗ったりし、綺麗になる心地良さが感じられるようにしていきます。



よいしょよいしょ

みて
みて

ジャンプ！



ひかり・つばきぐみ



食べることが大好きな子どもたち。以前は、保育士がスプーンで食べ物を掬い、口まで運ぶこともありましたが。今では、自分で食べたいという気持ちが強くなり、スプーンを使って最後まで食べようとしています。まだまだ手づかみ食べや食べこぼしなどがありますが、スプーンで食べるよう誘ったり、手を添えてすくう量を一緒に調節したりすることで食べられるようになってきました。これからも子どもの様子に合わせスプーンの使い方を知らせたり、食べている姿を認めたりしていきます。

7月は、水遊びや氷遊び、片栗粉粘土などを多く取り入れ、感触を伝えたり、気持ち良さや冷たさに共感したりして、様々な感触あそびを楽しめるようにしていきます。

あーん！





にぎゅみ



先月は、ふれあい遊びや表現遊びを十分に楽しみました。ひつつきもつつきでは「手」「お尻」など触れ合う部分を知らせると、子どもたちは「くっついた」と嬉しそうに、友だちと顔を見合わせてしていました。表現遊びでは、子どもたちは思い思いに表現を楽しんでいます。一人ひとりの自由な表現を認めると、「みてみて、くまはおおきいよ」「ちょうちょうは、ちいさいの」と、保育士に伝えています。様々な表現をする中で、大きさにも注目して楽しんでいます。今後も一緒に遊んだり仲立ちをしたりして、友だちと遊ぶ楽しさが感じられるようになっていきます。

今月は、スプーンの持ち方やマナーを意識して食事ができるよう、見本を見せたり声をかけたりしていきます。



おおきいくまだよ！



ちいさいライオン
ガオ～



《 “好き” から繋がる縁 》



前回の特集では、どのようにしてお菓子作りを好きになったのかについて書きました。あれからも休日になると、お菓子作りを楽しんでいます。最近では、作ったお菓子を写真に撮ってインスタグラムに記録するようになりました。投稿が少しずつ増えていき、自分の成長が目に見えるのが面白く、続ける励みにもなっています。

最初は、ただお菓子作りが好きで作っていました。でもそのおかげで、思ってもみなかったご縁に恵まれることがあったと知りました。先日、あるイラストレーターさんに街で声をかけられ、似顔絵を描いてもらう経験をしました。会話の中で、お菓子作りが趣味だということを話していました。話が盛り上がり元パティシエの友だちを紹介してもらえることになりました。また別の日には、お菓子の道具や写真撮影のための小物を買に行っていた時のことです。「これは何に使われるのですか？」と声を掛けられました。お菓子作りが趣味なことを伝えインスタグラムを見せると話が広がり、カフェに誘ってもらったなどの出来事がありました。今までなかった出会いが“好き”を続けてきたことで、少しずつ生まれてきていることに驚いています。

今回の経験を通して“好き”を大切に楽しむことは、自分らしさを育てたり、様々なことを乗り越える力になったり、人との繋がりを広げてくれたりするのかなと感じました。そして、そのように人と繋がっていくことが、自分自身の豊かさにも繋がっているのかもしれないと思いました。

子どもたちの『これ好き』『もっとやってみたい！』という気持ちも、きっとその子の豊かさにつながっていくのではないのでしょうか。そんな“好き”の芽を、より一層大切に広げていけるような、関わりを心がけていきたいと思います。

荻田 珠輪羅

